

1. 件 名：中部電力株式会社浜岡原子力発電所の事業者防災訓練に関する
意見交換について

2. 日 時：令和5年3月23日 10:00～12:00

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 緊急事案対策室

川崎企画調整官、澤村専門官、反町専門職、川本専門職、宮田専門職

中部電力株式会社

本店 原子力部 防災・核物質防護グループ長 他9名

5. 要 旨

中部電力株式会社から、令和5年2月10日に実施した同社浜岡原子力発電所の原子力事業者防災訓練で確認された問題点・課題、原因分析、原因分析を踏まえた対策について、ERCプラント班との訓練後の振り返りや社内・社外評価結果も踏まえまとめた資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁から以下のコメントを伝えた。

- ・リエゾン要員4名の派遣については、東京支社で4名確保できるように検討すること。また、要員の休暇や出張等にも考慮した十分な数の要員を確保できる仕組みを確立し、中長期的な要員育成についてもしっかり計画し実行すること。
- ・南海トラフ地震発生後の本店リエゾン要員のヘリコプター輸送及び日本海側経由での要員輸送の実現性について、輸送手順やヘリコプターの機数等の詳細やそれぞれの所要時間の想定について、最新の南海トラフ地震の被害想定等も参考に説得力のある根拠を示して回答すること。
- ・機器設備の略称は正式名称で説明するよう検討すること。
- ・シミュレータ改造の計画について説明すること。
- ・良好事例を含め、他事業者による評価及び評価を受けたアクションを記載し、PDCAを回すこと。
- ・幅広く集めた課題、良好事例の整理、評価結果について、エビデンスを示すこと。

中部電力株式会社から、本日の面談におけるコメントについて検討し、後日説明する旨回答があった。

原子力規制庁より、改善が必要となる事項については、具体的な対策を検討し、今後の原子力防災対策に向けた改善点として、防災訓練実施

結果報告書にまとめるように伝えた。

中部電力株式会社から、防災訓練実施結果報告書としてまとめ、後日説明するとの回答があった。

6. その他

配布資料：

資料1 2022年度 緊急訓練 訓練評価結果と課題対応について
(中部電力株式会社)